2025年5月26日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

高齢者肺炎患者に対するクリニカルパス導入の有用性に関する後方視的研究

2. 研究責任者

海南病院 老年内科 代表部長 野々垣 禪

3. 研究の概要

高齢者人口の増加に伴い、肺炎による入院患者は増加傾向にある。肺炎治療においては、早期のリハビリテーションおよび栄養療法の介入が予後の改善に寄与することが報告されている。一方で、高齢者は入院を契機に経口摂取が困難となり、経管栄養へ移行し、転院調整のため在院日数が延長するケースも少なくない。当院では2024年12月より、高齢者肺炎患者に対するクリニカルパスの運用を開始した。本パスでは、早期リハビリテーションおよび栄養療法の開始、さらに入院5日目からの退院支援を標準化して実施している。本研究では、2024年12月以降に肺炎で入院した高齢者を対象に、電子カルテ情報を用いた後方視的解析を行う。具体的には、クリニカルパスの使用有無、患者背景、肺炎の重症度、抗菌薬治療内容、リハビリ・栄養療法の開始の有無、在院日数、入退院時の療養場所と栄養方法、入院中における療養場所および栄養方法に関する話し合いの有無について情報を収集する。これらの情報をもとに、高齢者肺炎に対するクリニカルパスの導入が治療内容や臨床経過に与える影響を評価し、その有用性を明らかにすることを目的とする。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

2024年12月1日～2025年7月31日までに誤嚥性肺炎で入院となった患者さん。2025年8月1日以降に肺炎で入院治療された高齢者についても、適宜データの集積を行う予定です。

②使用する試料等

残余検体：なし

カルテ情報：高齢者肺炎クリニカルパスの使用有無、患者背景、肺炎重症度、抗生剤治療

内容、経管栄養・リハビリ開始の時期、入院 5 日目の臨床経過、在院日数、入院前・退院後の療養場所、入院前・退院後の栄養方法についての情報を使用します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 老年内科 野々垣 禪

電話：0567-65-2511（代表）